

あなたに寄り添い、今日も動く！



よいたまみ通信

第12号
2022年 早春号

発行：依田 眞美子松原市議会議員
〒580-0044 松原市田井城 2-2-2-402
TEL&FAX：072-334-2281



ごあいさつ



新しい年『2022年』もひと月が過ぎました。年始よりオミクロン株が猛威をふるい、戻りかけていた日常がまた、遠くなりつつあります。

松原市も3回目のワクチン接種が始まっております。厚労省からの通知があり、1月下旬より本格的な予約接種が始まります。2回目の接種が早く終了された方から、順次クーポン券が発送されています。今しばらくお待ちください。更にマスクの着用・うがいと手洗い・3密を避けご自身の身をお守りください。

今年も、議員力向上めざし頑張ってまいります！どうぞ皆さまよろしくお願いたします。

緊急通報装置レンタル

一人暮らしの高齢者に、ボタンひとつで看護師が常駐する受信センターにつながり、消防署に連絡できる緊急通報装置のレンタルをしています。

【新たな付加サービス(別途費用必要)】

・生活見守りセンサー

24時間程度、利用者の動きを感知しない場合、自動的に通報することができ、在宅時の状況確認ができる機能。

・携帯型緊急通報装置

電話回線の無い人(携帯電話のみの人)も携帯型の緊急通報装置を貸与。

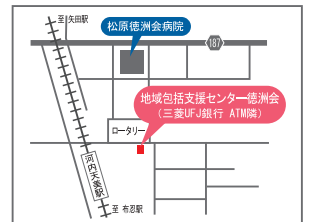


対象：在宅で生活している 65歳以上の一人暮らしなどの人
※詳しくは 高齢介護課まで

松原市地域包括支援センター徳洲会が移転

「天美南3丁目15番57号」に移転しました。

☎334-3439、334-3449
309号線より西側の圏域にお住まいの方
【問】高齢介護課



はじめてスマホを購入した65歳以上の方に応援

5,000円(1回限り)を交付!!

この機会にスマホデビュー

スマホからスマホへの機種変更は除きます。

※申請期限：

令和4年3月31日(木)までの申請受付分

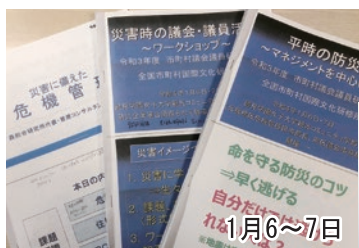
※詳しくは 高齢介護課まで



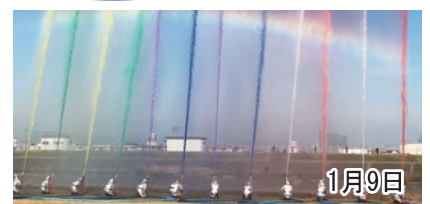
よいまみの 活・動・報・告



▲新春街頭in河内松原駅



▲議員研修に参加



▲松原市消防出初式 大和川河川敷



▲成人の日記念街頭in河内天美駅



▲成人式 松原市文化会館



2月オープン

▲天美図書館・弁天苑(天美東)



令和3年12月8日

個人質問

1 障がい者への更なる支援の充実を

1) ヘルプカードについて

問 ヘルプカードの対象者、配布場所は？

答 日常生活や社会生活において援助や配慮を必要としている人で、身障者手帳、療育手帳及び精神障害保険福祉手帳の所持者、難病患者、障害福祉サービスの受給者など。市役所障害福祉窓口と松原市福祉会館で配布。ダウンロードも可能。

問 利用者が使用しやすいように工夫された点は？

答 必要な支援の内容欄をひらがな表記にし、視覚障害者が判別しやすいように点字シールを貼付、また啓発チラシも点字版を作成。

要望 高齢者でも必要な方々が、スムーズに入手できる配慮を。そして常時携帯するカードなので、ホルダーケースを付けてと親切だと思う。



問 学校での具体的な避難訓練の内容は？

答 地震や火災を想定して避難訓練を実施している。訓練のための訓練にならないよう事前指導を丁寧に行い、一斉防災訓練などの初期対応とともに、避難経路や避難時の行動について指導。小学校では引き渡し訓練も実施。



問 特徴的な防災教育の取り組みは？

答 ISS(インターナショナルセーフスクール)の取り組みとして安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとしたり、安心・安全な地域社会づくりに貢献しようとする態度を身につけるための営みが日々行われている。

問 現在取り組んでいる防災教育の課題は？

答 学校と地域が協働して防災を含めた安全教育を推進していくために、ISSの取組みを一層充実させて行けるよう支援する。

要望 岐阜県本巣市では、中学生の防災リーダー養成講座を開催し、受講終了後、生徒たちはジュニア防災リーダーに認定され、各校でそれぞれ考えた取り組みを進めている。本市においても検討願いたい。

2) 松原市手話言語条例制定後について

問 市では、以前より手話の普及啓発に取り組んでいるとの事だが、聴覚障害者への支援についてはどうか？

答 正職の手話通訳士を2名(男女各1名)配置し、また登録手話通訳者は、24名登録しており、医療機関への受信や学校行事などの日常生活の支援を行っている。

問 手話の普及については、どのような取り組みか？

答 理解を深めて頂くために、手話教室を開催している。またコミュニティ活動の一つとして、聴覚障害者が市内の小中学校に出向き、手話表現を教えたり、生活のしづらさなどの体験を語るなど理解を深める授業を行っている。



要望 民間の施設なので難しいとは考えるが、これからの高齢化の中、手話通訳者がおられ、松原市内で通所できるデイサービスが有ればと願う。

2) JETプログラムの導入後について

問 令和3年度は、3名の先生がいるようだが、どの国から来日され、どの中学校で勤務されているのか？



答 松原中学校にアメリカ、第4中学校にシンガポール、第6中学校にフィリピンから来日され赴任している。

問 より多くの外国人の先生が学校にいることは、大変素晴らしいと考えるが、具体的な成果はどうか？

答 英語の授業においても生きた英語に直接触れることができ、豊かなコミュニケーション力が身に付き、自尊感情の向上につながると考える。授業以外の教育活動の場面で、外国の文化や習慣に日頃から触れることで、国際感覚の育成を期待している。

問 今後は、小学校や幼稚園でも授業されるのか？

答 従来から雇用しているALT(外国人の先生)が小学校を巡回している。今年度は、コロナの感染防止のため中止しているが、幼稚園にも定期的に英会話活動として訪問している。

問 今後もJETプログラムにより多くの外国人の先生を迎える予定ということだが、課題はあるか？

答 増員を計画的に行い、より多くの学校にネイティブスピーカーを派遣できるように準備していく。来日された先生が、安心して充実した生活を送れるように、生活面や教科指導面のサポート体制を構築していく必要がある。

問 今後の取組みで検討されていることは？

答 学校だけでなく、地域の活動にも積極的に参加できるように支援していきたい。本市の国際交流の発展に尽力してもらえようサポートをします。

要望 JETプログラムは、教育推進課が主に取り組んでいる。どの課も人材不足とは思いが、サポート要員が必要だと実感する。



3) デジタル障害者手帳について

問 紙様式の障害者手帳に代わるものとして、ミライロIDの活用がある。破れたり、紛失したりしやすい紙様式の手帳を持ちあるかなくとも、スマホのアプリ画面を見せることで、公共サービスの料金免除が受けれるようだが、市としてのお考えは？

答 登録した障害者手帳情報をスマホの画面に表示し、提示で公共施設や交通機関での料金減免が適用されるものと認識している。今後活用について検討していく。

2 幼・小・中学校での取り組み

1) 防災について

問 各幼稚園では、どのような防災対策を？

答 毎月ごとに、火災や地震、防犯など想定を変え避難訓練を実施。火災訓練では、毎回発生場所を変更し、避難経路を変える工夫をしている。消防署と連携し、消火の見本を見せてもらったり、火遊びの怖さを教えてもらったりしている。